

ふだん使いの

「日本語添削支援制度」ができました

文学院には大学院に在籍する留学生向けの「日本語添削プログラム」があります。これは修士論文・博士論文作成を対象とした支援で、教務担当が受付窓口となっています。学術誌への投稿論文等、草稿段階の学位論文等に対する日本語添削支援について多くの要望があることを受け、研究推進室ではアカデミック・スキル・バスケット*を活用した「ASB日本語添削支援」を始めます。

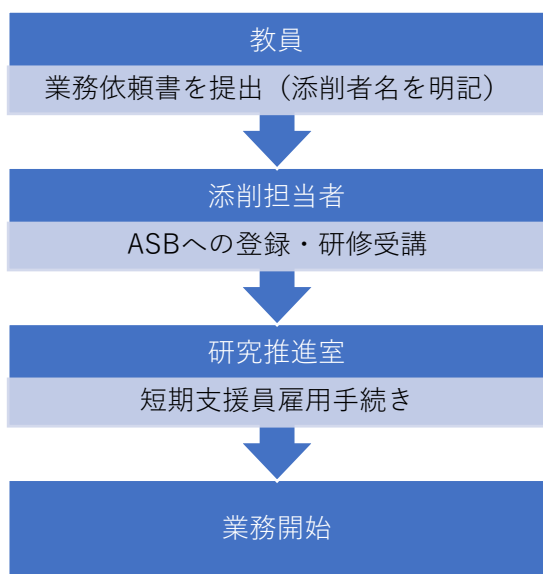
※アカデミック・スキル・バスケット（ASB）とは：
日本語添削、ポスター作成、文章校正、翻訳など、様々なスキルをもった若手研究者を登録し、本研究院の教員や委員会の依頼に応じて、そのスキルを活かしてもらう制度です。（若手研究者技能登録システム）

「ASB日本語添削支援」の特徴

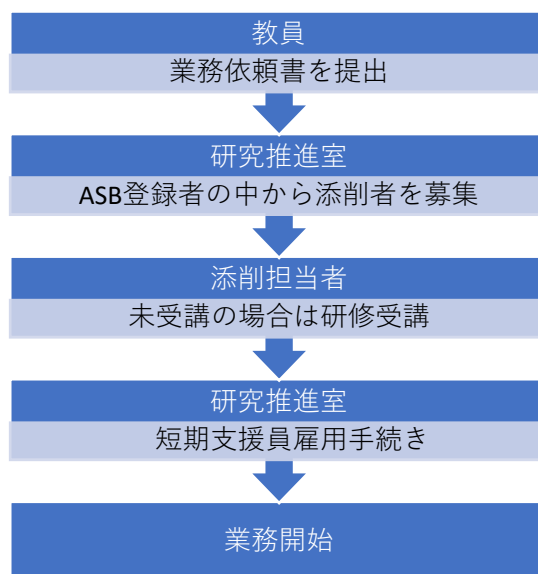
- ・添削者は研修受講済みの院生または専門研究員（日本語が母語）
- ・研究分野に応じた添削者をマッチング（添削者の指定も可能）
- ・添削者の雇用手続きは研究推進室が代行
- ・教員や研究室の一般運営財源等による雇用

ご利用の流れ

添削者が決まっている場合



添削者が決まっていない場合



お願い：短期支援員の雇用手続きは2週間かかりますので、お早めにお申し込みください。
短期支援員の業務監督は、依頼教員となります。従事日時は添削者と細かく打ち合わせてください。

お問い合わせ

研究推進室（担当：飯塚、澤田）
TEL: 011-706-4083, 4023
Email: kenkyu@let.hokudai.ac.jp

ASBについてはこちらをご覧ください
(業務依頼書をダウンロードできます)

<https://www.let.hokudai.ac.jp/general/academic-skill-basket>

文学部トップ>総合>学生生活>大学院生向け研究支援>プロジェクト・その他支援

